

Vol.5
FUKU DEN KAI

福電会

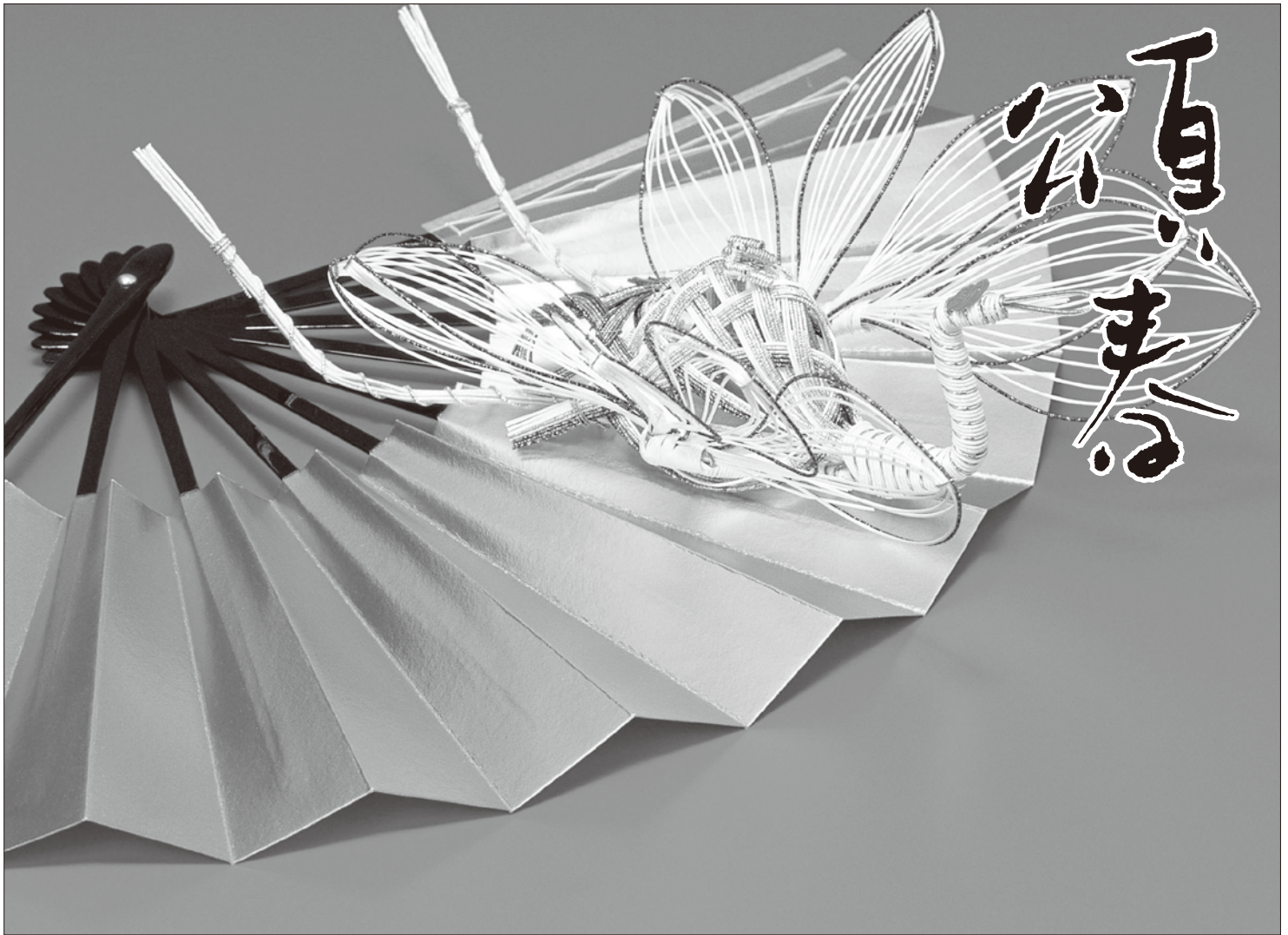
発行所
福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学内
福電会

郵便番号 814-0180
電話(092)871-6631 内線(6370)
FAX(092)865-6031

印刷所
福岡市博多区博多駅前2丁目
11-26 (井門ビル7F)
日本アート印刷株式会社

福岡大学電気工学科同窓会機関紙

編集：広報委員会



福電会

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございませう。

ご家族お揃いで、健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、日本経済の再生を目指した「聖域なき構造改革」の号令のもと、財政、金融政策、税制を統合した経済再生対策が試みられましたが一向に景気の回復基調が見られず、また、社会の信頼を失う企業不祥事が多発し、法令遵守の徹底の必要性が求められるなど、今だ長引く景気低迷から脱しきれない状況にあります。

今年は、改革が一段と進み、昨年以上に厳しい年となると思われませんが、IT(情報技術)社会と循環型社会が着実に進展をし、経済が回復基調に向かい、明るい年となるように期待したいものです。

さて、我が福岡大学工学部は、昨年、創立40周年を迎え、福大歴に新たな1ページを書き加えました。我々OBといたしましても大変喜ばしく、母校の存在が大いに励みになる次第であります。

送られてきました創立40周年記念誌、「21世紀を拓く工学部」を見開くと、大和工学部長の挨拶をはじめとして名誉教授、同窓会、教職員、学生の方々の寄稿文が掲載され工学部への期待と思い出が切々と語られており深く感銘いたしました。特に、長引く経済不況、少子化の時代で就職難、受験生減、入学者レベルの学力低下など真に危機意識があるなかでしっかりと工学部の教育理念と目標を掲げ、社会、時代が要求する人材育成、人格形成に携わっておられる学校関係者に深く敬意を払うものです。

我々福電会としても、この教育理念と目標の基に羽ばたく学生諸氏並びに学校関係者と共にこの工学部40周年を飛躍の年として更に発展していくと考えてあります。

最後に、福電会の皆様の健康とご家族ともども実り多い一年でありますように心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

福電会会長(昭和44年卒)

九州電力株 新小倉発電所所長 中野 正隆

卒業生からのメッセージ

福電会の設立の経過と
今後の発展を期待して

福電会顧問(第1回卒)

電子情報工学科 教授

築地 武彦



昨年は、福大工学部創立40周年に当りました。電気工学科は設立当初から開設されていますので、約4,000人を超える卒業生が第4号館から巣立っていることになります。

私たちは、たまたま、この電気工学科を第1回目に卒業したため、4,000人の後輩がその後卒業していることになり感激に堪えない思いをしています。一人です。

私は卒業後、熊本大学の大学院に進みましたが、工学部の設立に尽力された故森延光先生に、大学を良くするには卒業生が戻って活躍しなければならぬと言われて、昭和40年に増設された電子工

学科で、教壇に立っているものです。

その後、これもたまたまですが、電気工学科の同窓会である「福電会」の設立にかかわることができましたが、この場を借り福電会設立の経緯と、今後について私見を述べさせていただきます。

よい大学とは、研究や教育の設備が充実し、教授陣がそれぞれの分野で活躍して、社会的にも評価されていて、学生の学力のレベルが高く、多くの優れた卒業生を輩出し、卒業生に対する社会的な期待も高く、就職率もよい大学だと思います。

電気工学科は、超高電圧実験装置を始め、研究と教

育の施設も充実し、教師の数

も現在は10に増員されて、それぞれが学会などで活躍されていますが、教育内容も充実しています。また、入学試験の偏差値も九州ではかなり高い地位にあり、電気工学科の卒業生に対する評価は決して悪くはありません。

ただ、就職については、開設当初は知名度が低いこともあり、決して満足できる状態ではありませんでした。それでも、所謂、バブルの最盛期は大企業にも数多く採用され、順調な滑り出しと思われるかもしれませんが、バブルの崩壊とともに開設当時とあまり変わらな

いほどの状態に戻っているのが現状です。

私は、20年程前に、アメリカで1年程留学の機会を与えられました。その時、アメリカの大学とその卒業生との関係について学ぶ機会がありました。

例えば、大学内の建物には、リンカーンとかクラークとか、人の名前が付けられています。これは、卒業生の寄付などで建てられたため、寄贈者の名前が付けられているようです。また、大学から委託された同窓会の団体が、母校に相応しいと思う入学志願者を推薦できるようです。卒業生が母校を更に良くするシステムがあることに気づきました。

帰国当時、有信会という福大全体の同窓会があります。

たが、電気工学科の同窓会は、なく、工学部では、電気、電子工学を除いた他の4学科がそれぞれ個別に同窓会を運営していました。

アメリカでの経験から、電気工学科の発展のためには同窓会の組織が不可欠であることは理解していましたが、私自身がこれまで同窓会のような組織とのかかわりを避けてきた経緯があり、どうしたら同窓会などの組織ができるのか疑問でした。



そんなある日、電気工学科第1回卒業で、現在、福電会の理事の恒川さんが、土木工学科などの同窓会の資料を抱えて私の研究室に連れられました。そのとき、電気工学科の第1回卒業の同窓生が集まって同窓会の設立について検討しており、また第2回卒業でも、美山さんや電気工学科教授の嶋崎さんを中心として同窓会を作る準備が進められていることを知りました。

恒川さんは、同窓会の規約の草案を作成するなど事務的な仕事を引き受けられました。また、各卒業年度の卒業生の代表に幹事役を依頼するなど活発に活動されました。その甲斐があつて、各卒業年度毎の同窓会が開かれ、そこで電気工学科の同窓会の設立について承認が得られました。その後、平成3年3月に各学年の幹事による設立総会が開かれ、晴れて「福電会」が発足しました。

福電会の事務局は、電気工学科の厚意により電気工学科

科の中に置かれていますが膨大な事務処理は電気科の卒業生である助手の手柴君、眞鍋君たちの手に委ねられています。誠に感謝に耐えませんが、また、福電会の幹事会は中央区舞鶴にある「ばすすとつぷ」という軽飲食店で開かれています。この店は第2回卒業の坂井裕二さんが経営されていたので打ち合わせなどの会合に気軽に集うことができました。

しかし、坂井さんは福電会設立の先頭になって活躍されましたが残念ながら平成5年に病気で他界されました。



同窓会の組織としての役割は、会員である卒業生の相互の連帯を深めるための同窓会名簿の管理であると思われれます。福電会では、発足の翌年、平成4年に卒業生各位と、当時好況であった業界の支援もあつて立派な同窓会名簿が発行されました。また、平成7年から、福電会の機関紙「福電会」が発行され、現在にいたっています。昨年は、第1回の名簿が発行されてからもう10年を経ていると言ふことで、第2回目の同窓会名簿が発行されました。

40年という電気工学科の歴史に比べると、福電会はようやく10年を経たところですが、役員、事務局、また本当に多くの卒業生に支えられて順調な発展を遂げていて、うれし限りです。

同窓会設立当初は、山中旧会長を始め殆どの役員が、第1回、または第2回卒業生で占められていましたが、最近に第4回卒業の中野君が会長を引き受けられるなど若

干ではあります。若返りが行われました。私が同窓会に関心を持ったのは卒業後かなり年月を経てからですが、福電会が電気工学科と共に発展するには、できるだけ卒業後まもない、若い世代の卒業生が母校と密接に連帯を持つことが必要かと思ひます。

例えば、最近電気工学科に入学したにもかかわらず、将来、どんな仕事に携わりたいかなどの将来の目的が無い学生が多くなっているようです。

そこで、福電会の会員である卒業生が、社会でどんな仕事をして活躍しているか、そして、学生時代を振り返って、学生諸君がどんな目標を立てて学生時代を送るかなどの身近な問題を現役の学生に直接に話していただける機会はないものかと考えています。

社会では、同窓生のよしみで企業間の協力ができるようになるとか、また、企業内で先輩が先輩の面倒をみて、後輩が先輩のために活躍するなど同窓会を通じての交友にな

る利点があることは言うまでもありません。

電気工学科がより良い学科として発展していくことを考えると、在校生と卒業生との間のより密接な交流に期待すべきではないでしょうか。今後の福電会の発展と電気工学科の末永い発展を願って稿を閉じます。



電気工学科

創立四十年を振り返って

福電会顧問(第2回卒)
電気工学科 教授

嶋崎 俊行

昨年、福岡大学電気工学科は創立四十年を迎えました。本学科を卒業し、その後本学職員として共に過ごしてきました私にとり、一層の感慨深き思いです。

この間、電気工学科は目覚ましい発展を遂げ、社会からも高い評価をいただけるようになりました。これもひとえに卒業生の方々、そして職員の方々の多大なるご尽力のおかげだと思っております。皆様には心からお礼申し上げます。

私が入学したのは昭和三十八年、第二期生として入学。当時、初代工学部長の和田正雄教授は「強く私学の誇りを持って、上を向いて歩け。そして、国立大学の学生よりも、もっと勉強して人

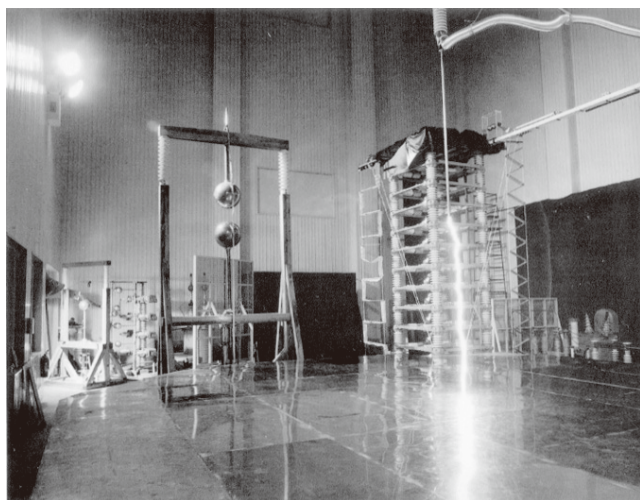
間的にも偉くなれ」と、私たち新入生を叱咤激励し、強い情熱を持って教育にあたられていました。また、電気工学科では藤田重明教授(電気磁気学)、後藤文夫(電気機器工学)、井上俊祐教授(電気工学)を中心として教育が進められ、「電気工学科の伝統は君たちが創るのだ」と、いつも発破をかけられたことを覚えております。藤田教授は「楽にしろ、ベルトを緩めろ。ウア、ハ、ハ」と、いつも我々学生をリラックスさせるように気を遣われ、後藤教授は「君たちはヤングジェントルマンだ。大人として扱うから、責任も自分でとれ」と、学問だけでなく、人としてどう生きるかの話もよくされていました。また、井上教授は温厚な人柄で我々

をいつも優しく包んでくれたものでした。このような教育環境の中で育てられた創立時の私たちは、その後、社会人として立派に活躍ができるような素養を、ここで身につけられたものと思っております。

その後、本学には昭和四十五年に大学院工学研究科電

気工学専攻も創立され、教員だけでなく、研究機関としても充実していきました。高電圧実験室には当時、大学の設備としては大規模な二五〇

キロボルト衝撃電圧発生装置(写真参照)や放電の発光現象を時間解析できる、数千円という高価なイメージコンバータカメラなども設置され、



※1500kVIGによる人工雷実験

その研究成果は学会でも注目されるようになりました。

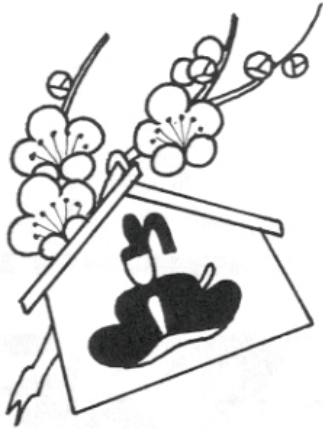
一方、老朽化した四号館(昭和三十八年八月竣工)の改装、新高電圧実験室の建設など、教育環境も着々と整備されると共に、学生の社会的評価も年々ますます高まり、国立大学共通二次試験が実施される頃までは、入学生の質も順調に上がっていきました。学生の質にはバラツキがありましたが、電気工学科にはすばらしい才能を持った学生が多く含まれ、このような優秀な学生によって教室の雰囲気も作られ、講義は充実したものでした。

しかし、共通二次試験以後、大学の序列化が進み、また昭和六十年頃のバブルの時期になると、私立大学の校風が好まれたのか(勉強しなくてもよい)、受験生は増加するが、勉強しない学生が増え、そして抜けた優秀な学生も少なくなってきました。とこ

ろが、幸いにもこの時期は好景気のため就職には全く困らないことから、私たち大学職員もその後の大不況を知らずに、このことを呑気に考えていたようです。

そして、今、世間は大不況、さらに大学は少子化のため厳しい冬の時代を迎えております。最盛期には千数百名を数えていた受験生も、今では九百名程度まで年々減少し続け、さらに学生の質の低下には目を覆いたくなるような状況です。

電気工学科の創立時は、専門科目の単位は半期の科目で二単位、そして卒業単位は四六単位でしたが、現在では



同じ半期の科目で倍の二単位、そして卒業単位は三八単位に減少しております。学生には多くの自由な時間を与え、広く色々な学問にも興味を持たせ、幅広い教育を身につけた大きな人間に育てて欲しいという旧文部省の方針に従い、大幅なカリキュラムの変更を行ってきたものでしたが、結局は勉強しない学生を作り出し、アルバイトに精を出させ、そのため、今でも約三〇%の学生が留年しております。

受験生の減少以上に学生の質の低下が、今大きな問題となつて私たちにのしかかっております。基礎学力の低下、学問への興味、関心の無さ、そして何事に対しても無気力といった学生が増え、結局、授業についていけず、電気工学という学問に対して自信をなくし、電気関係以外のところに就職したいと考える学生も少なくない状況です。

もちろん入学生の質の低

下に対し、電気工学科でも少人数教育（クラス十名程度）の導入や、電気工学入門などの初歩の内容の科目を新たに創立し、電気工学への興味・関心を学生に持たせ、また、最初から勉強へのつまずきが無いように、努力を続けておられます。しかし、最初から勉強への前向きな気持ちが無い学生に対しては、私たちの如何なる努力も無駄な状況で、今、教育の面で電気工学科は大きな壁にぶつかっているようです。

しかし、何とかこの難局を乗り切るしかありません。四十年前の本学電気工学科の創立時のことや先達のことを思い出し、そして創立時の気持ちに立ち返り、新たな情熱を持つて学生に接し、四十年かかつて作り上げた伝統の上に、さらに新たな伝統を積み上げなければと思っております。それには、現在社会でご活躍なさっている卒業生の方々にも、

実際にたずさわってこられた仕事や当時の話などをして頂ければ、学生には電気工学への興味がさらに湧いてくるのではないかと期待しております。

以前には、二期生の中島直道氏（現西鉄電設株式会社、専務取締役）が「電気鉄道」の講議をされるなど、先輩が後輩に講議を行う機会がありました。ところが、先輩が教壇に立つことが途絶えております。大変に残念なことです。そこで、来期には電気主任技術者としての経験を

生かして、二期生の方に「電気法則および施設管理」の講議をして頂く予定にしております。

さらに、今後卒業生の方々には実社会での経験を、後輩のためにお話して頂く機会を多く作りたいと考えておりますので、そのときにはよろしくご協力頂きますようお願いいたします。

以上のようなことを含め、卒業生の方々にも、電気工学科として在学生に対してさらなるご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げる次第です。



創立40周年記念

『同窓会名簿』発刊にあたって

福電会理事(第一回卒)

恒川 忠章

会員の皆様、こんにちは。
如何お過ごしでしょうか。

早いもので、福岡大学工学部電気工学科が設立して今年で41年目となります。卒業生も4,000人を数え多様な面で社会に貢献され、特に西日本地区ではその地位は周知の通りでございます。

我々福電会としては平成4年に同窓会名簿第1号(設立30年目)を発刊いたしました。が非常に好評で、平成9年に補訂版を追加発刊をいたしました。この度、平成14年3月に第2号(設立40年目)を発刊すべく準備に取りかかりました。

平成12年11月

電気科事務局より

印刷会社に卒業生のデータ渡し

平成12年12月

印刷会社にてデータ変換

平成12年4月

往復葉書による本調査開始

平成13年5月

第1回目締め、分類、

見直し、修正及び新規入力

平成13年7月

再調査(無返信者に再度

往復葉書を送付)

平成13年8月

第2回目締め、分類、

見直し、修正及び新規入力

平成13年10月

最終点検

平成13年12月

名簿版下作成開始

平成14年2月

名簿の印刷開始

平成14年3月

製本、名簿完成

第1号版(平成4年)の時

の経験を生かし、まずは企業様方々へのPR活動に重点をおきました。PR用の小冊子を作り編集委員28名全員に協賛企業獲得のノルマを課し、1号版の時の倍増を目指し各企業訪問をいたしました。

1号版の時(バブル期)は世の中が景気良かったことと初版であったことで沢山の企業様に協賛を頂き制作費にもさほど心配はなかった様に思います。ところが今回は違います。当世は不況下、なかなか思うように集まりません。毎月1回編集委員会を召集し企業獲得の会議の連続でした。少しでも伝手をさがし、協賛お願いに廻りました。編集委員の努力と協賛企業様方々のご支援の結果、平成13年12月末には130余社までになりました。

あとは広告版下などの打合せ等で最後の追込みをかけた。平成14年3月の卒業式に完成、卒業生に渡すことができました。

ここに広告のご掲載をいただいた多くの企業様、ならびにご協力をいただきました。

また卒業生の皆様方には、ご交流、また、相互の情報交換、発展に必ずお役に立てて頂けるものと信じておりますので、この機会にぜひご購入をご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集委員の皆様は心より感謝と御礼を申し上げます。皆様のお力添えを賜り、おかげさまで、創立40周年の記念すべき年に本書の完成に至りました。

問い合わせ先

福岡大学工学部電気工学科内 眞鍋吉秀(昭47年卒)

☎092・871・6631

AM8:30~PM5:00

購入金額:3,000円(送料含む)



(A4版 224頁)

福電会第18回 ゴルフコンペ報告

「構造改革」「自己責任」の時代の最中、福電会は第18回ゴルフコンペを大和不動産カントリー倶楽部で昨年7月20日(土)にラウンドしました。

8名の参加で楽しい一日を過ごしました。

以下、成績参照下さい。

	アウト	イン	H.D.C.P	NET
優勝 伊藤 勝	42	43	14.4	70.6
2位 林 憲三	45	46	20.4	70.6
3位 築地 武彦	47	45	19.2	72.8

次回は4月頃を予定しています。

連絡先
(株)サン電工社 林 憲三
TEL 7717641 FAX 7412432
43年卒

第3回卒業生(昭和43年) 懇親ゴルフコンペ

昨年10月20日(日)に恒例(第11回目)のゴルフコンペを熊本の地、菊水ゴルフクラブで開催いたしました。年2回を恒例とし日帰りコースと宿泊コースで毎年懇親を深めております。今回は日帰りコースでした。

「スコアは皆気にせず馬券を気にしてスタート……」

仕事の悩み、人間関係の悩み等、日頃のストレスが溜まっていても皆の顔を見て話が弾むと気分がスッキリとし、最高の葉です。次回は4月に宿泊コースで開催する予定ですのでこの紙面でご案内申し上げます。

初参加希望の方は左記までご連絡下さい。



連絡先
43年卒 古森 清明
TEL 0904480035000

卒業生による企業PRコーナー

「先輩からの贈る言葉」

(株)電友社が、ここ福岡の地に産声をあげたのが昭和21年、以来電気設備工事の企画、設計、施工を事業の柱とし、50数年の歴史を重ねさせていただきました。

これからも当社ではこれまでに蓄積した技術力と日々の研鑽により、電気エネルギーと快適な暮らしを営むための環境作りを目指し邁進してまいります。

昭和45年度電気工学科卒業
代表取締役 **森 茂**



会社概要	名創設	株主	代表取締役	森 茂	設計	施工
	投資	立金	取立	茂	設計	施工
事務所ご案内	本	社	福岡市中央区白金1-17-21	TEL 092(521)6538	FAX 092(521)1789	e-mail: denyusha@coral.ocn.ne.jp
	本	社	福岡市中央区白金1-17-21	TEL 092(521)6538	FAX 092(521)1789	e-mail: denyusha@coral.ocn.ne.jp
	本	社	福岡市中央区白金1-17-21	TEL 092(521)6538	FAX 092(521)1789	e-mail: denyusha@coral.ocn.ne.jp
	本	社	福岡市中央区白金1-17-21	TEL 092(521)6538	FAX 092(521)1789	e-mail: denyusha@coral.ocn.ne.jp

福岡大学ご卒業おめでとうございます。今年卒業の皆様は、デフレスパイラルのこの厳しい経済情勢・環境の中、また世界各国では、爆弾・テロといった何が起こるか分からない時代でもあります。その中で皆様は、社会人として出発されるわけですから、将来への期待と不安が入り混じっていると思います。しかし、それに負けない不屈の闘志の持ち主であってほしい。先日、ノーベル科学賞を受賞された「島津製作所」の田中耕一さんは、会社の人からは変人・変わり者といわれ、それでも自分の意志を持って研究・仕事に精進され偉大な受賞を遂げられました。

皆さんもスポーツで言うと、野球選手ではなくラグビー選手みたいに自分自身で判断・決断し相手に突進する強い責任感と使命をもって二人の社会人・人として毎日を明るく、へこたれず、健康に留意してがんばってください。

昭和57年度電気工学科卒業
西鉄電設工業(株)開発営業部
前田 隆博

平成14年度事業報告

1. 第9回同窓会名簿編集委員会
平成14年4月27日(土)

於バーストップ

- (1) 出席者13名
(2) 議題

① 広告協賛企業への御礼状配付打合せ

② 名簿送付先の手配について

③ 広告入金状況の確認

2. 平成14年度第1回理事会
平成14年6月29日(土)

於バーストップ

- (1) 出席者17名
(2) 議題

① 名簿完成報告

② 平成14年度幹事会開催についての打合せ

③ 平成13年度決算報告

④ 平成14年度予算案の作成について

3. 平成14年度幹事会
平成14年8月3日(土)

於西鉄第一共済会館

- (1) 出席者29名 委任者10名
計39名

- (2) 議題

① 平成13年度収支決算報告承認

② 平成14年度計画及び収支予算審議承認

③ 設立40周年記念

福電会名簿発行の報告

④ 新卒業生の福電会入会への勧誘協力

(平成14年3月24日)

4. 平成14年度第2回理事会
平成14年8月20日(火)

於バーストップ

- (1) 出席者7名
(2) 議題

① 工学部40周年記念誌原稿の打合せ

名簿発行に関する会計報告

平成14年7月31日現在

Table with 2 columns: 発行費, 消費税, 葉書、切手, 合計. Values: 3,100,000, 155,000, 146,800, 3,401,800.

Table with 2 columns: 広告代, 振込手数料, 合計. Values: 2,741,500 (139件), -14,970, 2,726,530.

Table with 2 columns: 名簿販売, 振込手数料, 合計. Values: 513,000 (171件), -7,660, 505,340.



福電会平成13年度決算書

(単位:円) 自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日

Financial statement table with columns: 科目, 予算, 決算, 摘要. Includes sections for 収入の部, 支出の部, and 財産目録.

福電会平成14年度予算(案)

(単位:円)

Financial statement table with columns: 科目, 予算, 平成13年度予算, 摘要. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

大学行事予定

平成15年度 行事予定

学部

〈前期(4月1日)〜9月17日)〉

4月3日(水) 入学式

4月4日(木) 新入生オリエンテーション

科目登録指導ガイダンス

学部指導懇談会(10日まで)

科目登録(1年次生)

4月6日(土) 学友会紹介

4月9日(火) 定期健康診断(6月14日まで)

4月11日(木) 前期授業開始

4月14日(日) 新入生歓迎ピクニック

5月21日(火) 創立記念日

7月15日(月) 前期授業終了

7月17日(水) 前期定期試験

7月30日(火) 前期定期試験

7月31日(水) 夏季休業

9月17日(火) 夏季休業

〈後期(9月18日)〜3月31日)〉

9月18日(水) 後期授業開始

10月31日(木) 学園祭:休講については下記参照

(七隈祭(5日まで)予定)

(雅祭(2日まで)予定)

12月24日(火) 後期授業終了

12月25日(水) 冬季休業

1月9日(木) 冬季休業

1月15日(水) 後期定期試験

1月28日(火) 成績発表

2月中旬 成績発表

人文・法・経済・商・商工・スポート科(4年次生理学・4年次生)

医(第1学年)・薬(全年次)

3月24日(月) 卒業式

世話人

Table of staff members with columns: 役職, 氏名, 所属, 生年. Includes 会長 中野 正隆, 副会長 古森 清明, etc.

会計幹事

Table of accounting staff with columns: 氏名, 所属, 生年. Includes 山下 興次, 眞鍋 吉秀, etc.

事務局からのお願

福岡大学工学部は、平成14年春、学部創立40周年を迎える事が出来ました。40周年記念として「福電会」同窓会名簿を発行いたしましたので、会員各位様へ購入の御案内をいたします。

連絡先は「世話人」又は左記までお知らせ下さい。

「ご意見等」ございましたら福電会事務局までご連絡下さい。又、住所等の変更がございましたら、「ご報下」下さい。

福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学 工学部 電気工学科内 福電会 眞鍋 吉秀 TEL(092)871-6631 FAX(092)865-6031